

# 川崎駅周辺帰宅困難者等対策ワークショップ次第

平成25年1月21日14時  
商工会議所第5・6会議室

1 座長挨拶

危機管理室長

2 注意事項・説明

3 ワークショップ

- |                       |             |
|-----------------------|-------------|
| (1) 概要説明              | 14:05～14:20 |
| (2) 自助フェーズ（各施設での検討）   | 14:20～14:45 |
| (3) 発表・解説             | 14:45～14:55 |
| (4) 共助フェーズ（グループごとに検討） | 14:55～15:25 |
| (5) 発表・解説（グループごと）     | 15:25～15:40 |
| (6) 公助フェーズ（グループの連携）   | 15:40～16:20 |
| (7) 発表・解説（代表者のみ）      | 16:20～16:35 |
| (8) 振り返り検討（全員）        | 16:35～16:50 |
| (9) まとめ・講評            | 16:50～16:55 |

平成24年度  
川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会  
ワークショップ

平成25年1月21日

進行要領

スケジュール

14:05～14:20(15分) 訓練の説明

[14:20～14:45\(25分\) Phase1 自助\(各施設での検討\)](#)

13:45～14:55(10分) 発表、解説

[14:55～15:25\(30分\) Phase2 共助\(エリア内での連携\)](#)

15:25～15:40(15分) 発表、解説

[15:40～16:20\(40分\) Phase3 公助\(行政の支援\)](#)

16:20～16:35(15分) 発表、解説

16:35～16:50(15分) 振返り(議論)

16:50～16:55(5分) まとめ・講評

2

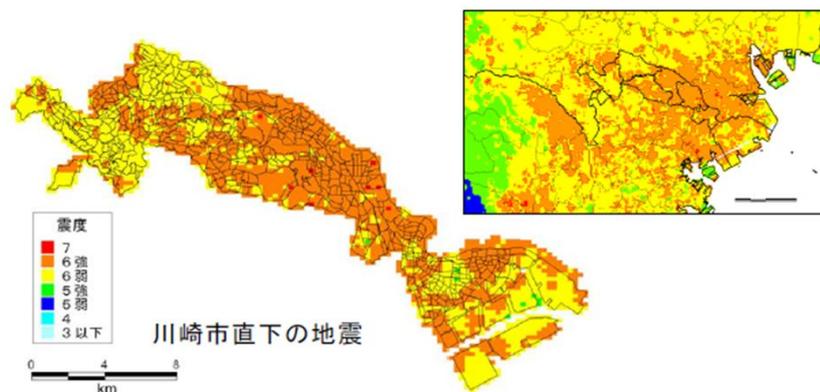


Phase1 シナリオ 時間=2013年1月21日(月) 14時

- ・被害概況 午後2時、川崎市直下でM7.3の地震が発生。川崎、幸区で震度6強を観測した。
- ・インフラ(電気、通信、水道) 停電となり、通信は輻輳で使えず、水も出なくなった。携帯電話も直後から輻輳により通話ができない状況になった。
- ・交通状況(電車、バス) JR、京急は運行見合わせ。その他、首都圏の鉄道をはじめ交通機関は全て止まっているもよう。
- ・駅前の状況 JR川崎駅、京急川崎駅では、人々が騒然としているが、発災直後ということもあり、混乱は見られていない。
- ・天気、気温 現在の天気は曇り、気温1度。天気予報によると、このあと天気は下り坂で、早ければ夕方にも雪が降る見通し。

5

Phase1 シナリオ(被害想定)



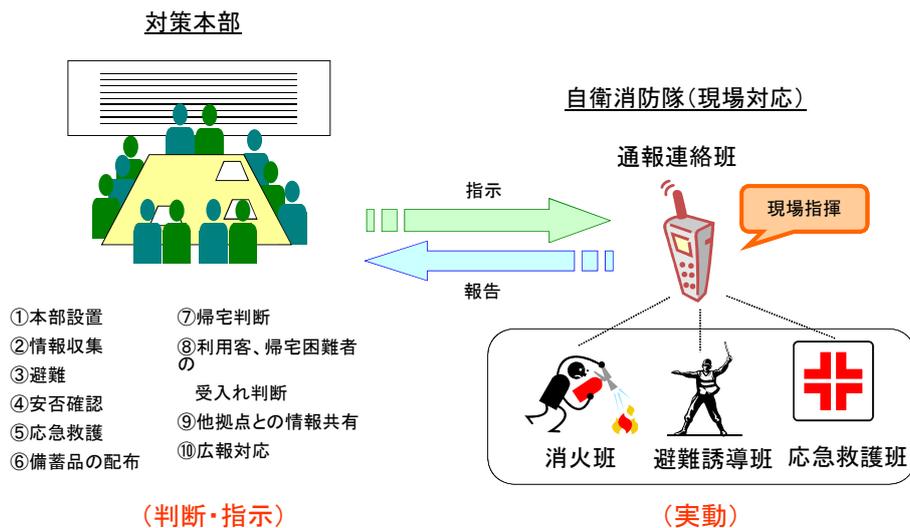
川崎市被害想定: 2011.3 6

Phase1 シナリオ(前提条件)

・バス会社の拠点、台数	【臨港バス】浜川崎営業所(川崎区鋼管通5-3-23)、神明町営業所(幸区神明町1-73)、塩浜営業所(川崎区塩浜2-12-21) 【東急バス】高津営業所(高津区溝口5-14-1)、虹が丘営業所(麻生区王禅寺963-8)
・タクシー会社の拠点、台数	【タクシー協会川崎支部への加盟】26社3営業所1,484台 要援護者用のユニバーサルデザインタクシー21台 【川崎区内】9社 597台、ユニバーサルデザインタクシー6台
・広域避難所	多摩川河川敷、川崎競馬場、川崎競輪場、川崎球場、富士見公園、大師公園、小田公園、御幸公園
・無線機	JR川崎駅、京急川崎駅、区役所、一時滞在施設に配備済み
・備蓄品(毛布、水500mlの数量)	アゼリア3,000、教育文化会館1,500、産業振興会館600幸市民館800

7

Phase1 解説 発災直後の対応(対策本部)



8

Phase1 解説 発災直後の対応(現場対応)

- ✓ 発災直後、机の下に隠れるか、カバン・衣類で身を守るように指示する。
- ✓ 災害対策本部(または防災センター)からの指示(放送、呼びかけ)があるまで、その場で社員、利用客を待機させる
- ✓ 但し、火災発生、校舎の耐震性に疑問がある場合は安全な場所に避難させる。

(注意)ガラス飛散範囲は建物高さの約1/2である。

安全の確認が取れるまでは屋外には出ないことが原則

- ✓ 避難誘導の原則(火災発生時)

通路の曲がり角、階段の入り口、エレベータ前(利用を制止)

n階					
3階	●				
2階	出火	●			
1階		出火	●	●	●
B 1階		●	出火	●	●
B 2階		●	●	出火	●
B 3階		●	●	●	出火

9

Phase1 解説 発災直後の対応(自衛消防隊の対応)

**消火班**

- ・初期の消火
- ・防火シャッターの閉鎖

**通報連絡班**

- ・対策本部への連絡
- ・消防隊への引継ぎ

**避難誘導班**

- ・安全な避難誘導路の確保
- ・逃げ遅れの確認
- 危険箇所の立入禁止措置

**応急救護班**

- ・避難所の確保
- ・負傷者への応急手当
- ・負傷者の搬送

10

Phase2 シナリオ＝2013年1月21日(月) 17時

被害概況 発災から3時間が経過。

・駅ロータリーはタクシー乗り場とバス乗り場で、いつ来るか分からないタクシー、バスを待つ人の長蛇の列が出来ており、我慢の限界に達した人たちがあちこちで騒ぎはじめている。一方、家族の安否が分からず、しびれを切らした人が徒歩での帰宅を決め、大勢の人が川崎駅東口から国道15号を目指して歩き始めている。しかし新川橋交差点周辺の建物倒壊により、新川通りは通行できない状況になっている。

・幸区中幸町3丁目交差点付近では大規模な建物倒壊、貝塚1丁目付近では市街地火災が発生している。市、警察、消防とも救出・消火活動で手一杯である。住民からの支援要請に応えられる状況ではない。

・駅売店、付近コンビニでは飲食物、飲料水は全て売り切れ。街頭の自動販売機も停電のため作動していない。折からの寒波により小雪も舞い、屋外滞留者は凍えている。

11

Phase2 シナリオ＝2013年1月21日(月) 17時

・インフラ(電気、通信、水道) 停電、断水が続き、通信も輻輳で使えない。携帯電話も不通である。メールは使えるようだが、かなりの遅延が生じている。

・交通状況(電車、バス) JR、京急は本日中の運行再開はしないと決定。バスも見合わせ中、再開の目処は全くたっていないと発表。

・駅前の状況 駅周辺施設に集まる人は増加の一途をたどり、東西で相当数に達しているもよう。施設によっては収容能力を超えた人員が滞留しているところもある。また滞在者の中には高齢者、妊婦や小さな子供連れの親子もあり、支援が必要な状態である。

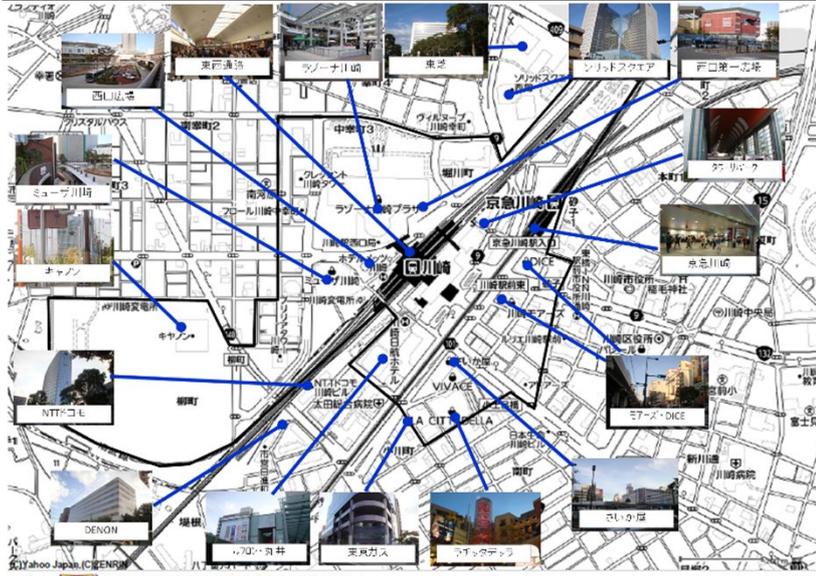
・道路の規制 地域防災計画に基づき、駅周辺は一般車両の通行禁止・制限や緊急交通路の確保、通行禁止区域に指定された。しかし国道15号は上下線とも大渋滞であるうえ、歩行者が車道に溢れ出し、緊急車両の通行もままならない状況である。

・天気、気温 気温0度、雪が降り始めてきた。

12

Phase2 解説

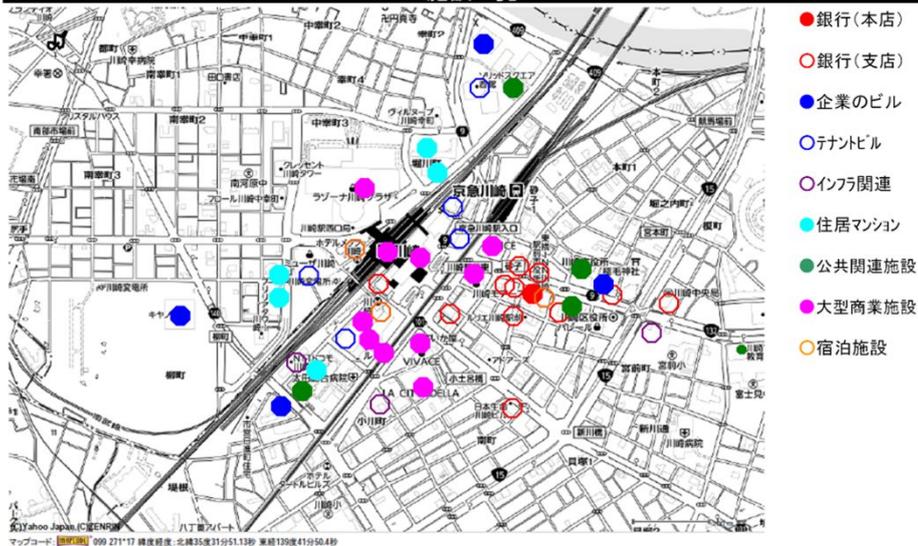
施設一覧(写真)



13

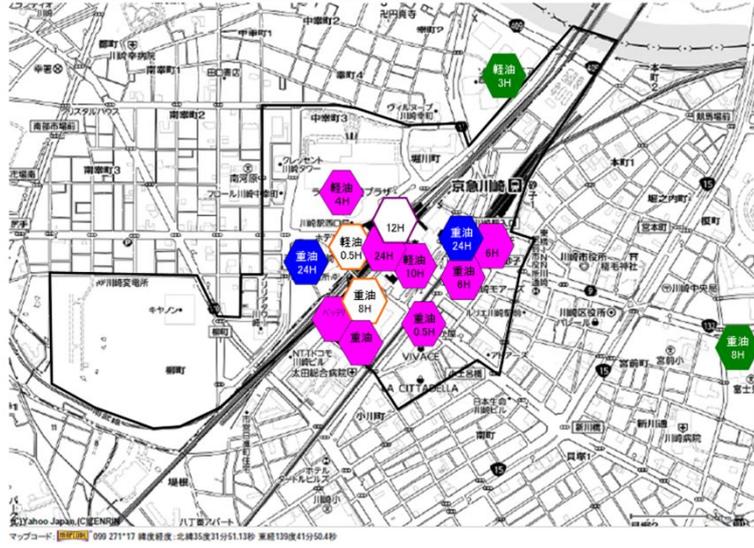
Phase2 解説

施設一覧



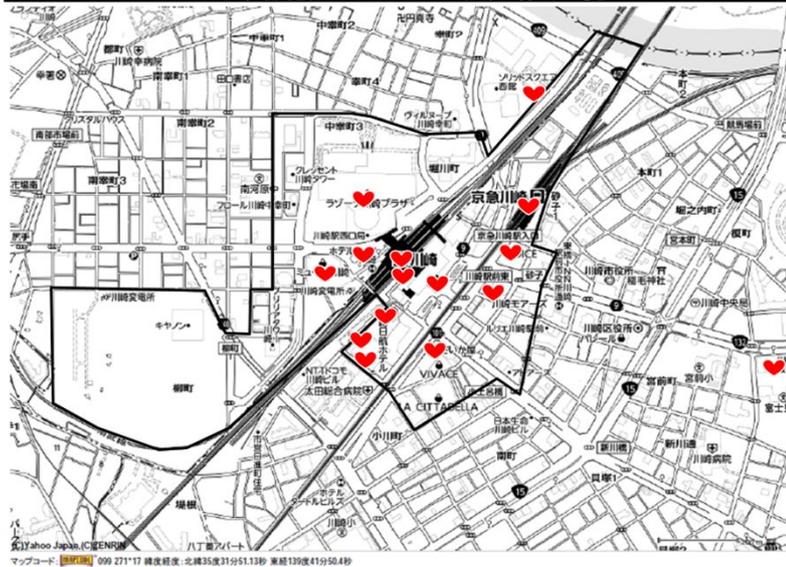
Phase2 解説

自家発電設備の設置状況



Phase2 解説

主な集客施設におけるAED設置場所一覧



Phase3 シナリオ=2013年1月21日(月) 20時

**被害概況** 発災から6時間が経過。

・雪は止みそうになく、一層冷え込んできた。駅周辺にいる相当数の滞留者の数は一向に減る気配がない。エリア内での滞留者の移動は一巡し、特定の施設への滞留者が集中することによる危険性は薄らいたように見られたが、局地的に滞留者の間でパニックが起こっているもよう。

・貝塚1丁目の火災は拡大し、いまだ鎮火には至っていない。

・**インフラ(電気、通信、水道)** 停電、断水が続き、通信も輻輳で使えない。携帯電話も不通である。メールは使えるようだが、かなりの遅延が生じている。

・**交通状況(電車、バス)** JR、京急は本日中の運行再開はなし。バスも見合わせ中、再開の目処は全くたっていない。

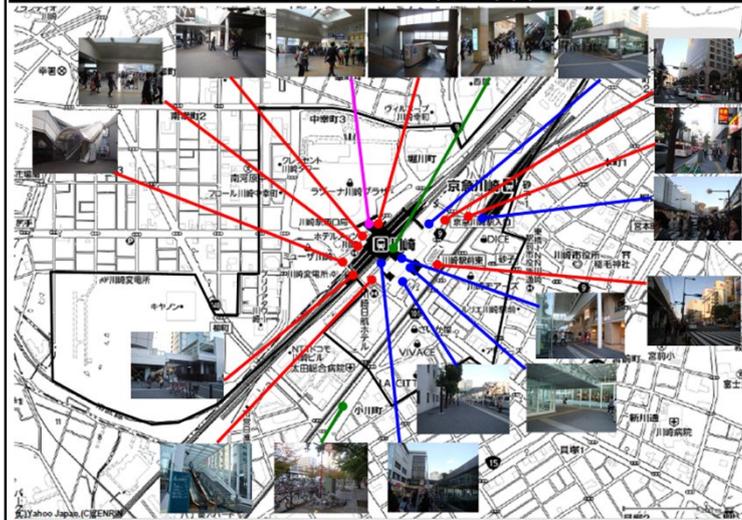
・**道路の規制** 駅周辺は一般車両の通行禁止・制限や緊急交通路の確保、通行禁止区域に指定されているが、国道15号は上下線とも大渋滞であり、歩行者が車道に溢れ出し、緊急車両の通行もままならない状況が続いている。

・**天気、気温** 気温-1度、雪が降っている。

17

Phase3 解説

**ボトルネック**



**狭い通路・道路** ■  
※滞留、待機倒しが起こりやすい  
一通行止め、一方通行とする

**狭い場所** ■  
※様々な方向に行く人が生じ、人の拡散、統制が取れなくなる  
一通行止め、一方通行とする

**広場に障害** ■  
※人の流れが寸断され、滞留、待機倒しが起こりやすい  
一方通行、または通行する方向を限定する

**ボトルネック** ■  
※広い場所一狭い場所では、滞留が起こる  
一前の場所から流入制限を行う